イオン導入装置

パイオキュアー5型

取扱説明書



医療用具承認番号　47B第490号

・・・・・・・・・・・・

安全上のご注意

本製品を安全にご使用いただくため、製品ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
この取扱説明書は、製品使用において大切なものですから、いつでも取り出せる場所に保管してお使いください。
この取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・取り扱いについて、次の記号により警告表示を行っています。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示について



△ 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容が描かれています。



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。 また電源プラグを抜くときは、必ず先端のプラグ部分を持って引き抜いてください。 	電源プラグに付着したホコリ・異物は確実に取り除き、また電源プラグの差し込みはプラグの根元まで確実に行ってください。 火災の原因となります。 
電源コードのたこ足配線はしないでください。家庭用電源コンセント(AC100V)から直接電源をとってください。 発熱し火災の原因となります。  禁　止	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 感電・ショート・火災の原因となります。  禁　止
弊社サービスマンまたは有資格者以外の人は、分解したり、修理・改造を絶対に行わないでください。 火災・感電・ケガの原因となります。  分解禁止	通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。  禁　止
異物や水などの液体が内部に入った場合はそのまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、弊社サービスマンにご相談ください。  禁　止	煙が出たり、変な臭いや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、弊社サービスマンにご相談ください。  禁　止

⚠ 注意

不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてケガをする恐れがあります。
水平で安定した場所に置いてください。



禁 止

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
感電・火災の恐れがあります。



禁 止

温度変化・湿度変化の激しい場所に置かないでください。
故障の原因となります。



禁 止

製品の通風孔をふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災の恐れがあります。
また壁際に設置する場合は、壁から 10 ㎝以上のすき間をあけてください。



禁 止

長期間ご使用にならないとき、または製品の手入れ、移動をする場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電する恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また電源コードに重いものを乗せたり、挟み込んだりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の恐れがあります。



禁 止

製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
倒れたり、壊れたりしてケガをする恐れがあります。



禁 止

目 次

１．安全上のご注意 ---------- １

２．ご使用の前に

○ 本製品の特長 ---------- ５

○ 各部の名称と働き ---------- ７

○ 付属品の名称 ---------- ８

○ 別売品 ---------- ９

３．ご使用方法

○ 事前準備 ---------- １０

○ 基本操作 ---------- １２

○ 治療（ＩＯＮＴＯＰＨＯＲＥＳＩＳ） ---------- １３

○ 治療応用例 ---------- １５

○ 電気歯髄診断法（ＶＩＴＡＬ ＴＥＳＴ） ---------- １９

４．保守のしかた

○ 製品の手入れ ---------- ２１

○ 付属品の交換 ---------- ２２

○ 製品の発送について ---------- ２２

５．困ったときは

○ 故障かな？と思ったら ---------- ２３

○ 本体・付属品の点検方法 ---------- ２４

○ アフターサービス ---------- ２６

６．付録

○ 索引 ---------- ２７

本製品の特長

ここでは、本製品の特長について説明しています。

パイオキュアー

パイオキュアーは、歯科領域のあらゆる疾患に応用され、特に根管治療の難治な症例、根端病巣の複雑な症例、知覚過敏症にと、先生方の「よき助手」として活躍しています。また衛生士さんのう蝕予防実施には、なくてはならない装置です。

根幹治療用アタッチメント

患者の部位及び症例により5種類の電極がセットされています。

イオントレー

イオントレー（承認番号45B第134号）をパイオキュアーに接続して、上下顎各2分間でう蝕予防処置が完了します。マウスピース型のトレーで1個ずつ滅菌包装されています。年齢別に歯列弓の成長度にあわせて選べるように3種類そろっています。

2%フッ化ナトリウム液（PYO-4A）

安定度が高く、イオン導入に最も適しています。

効 果

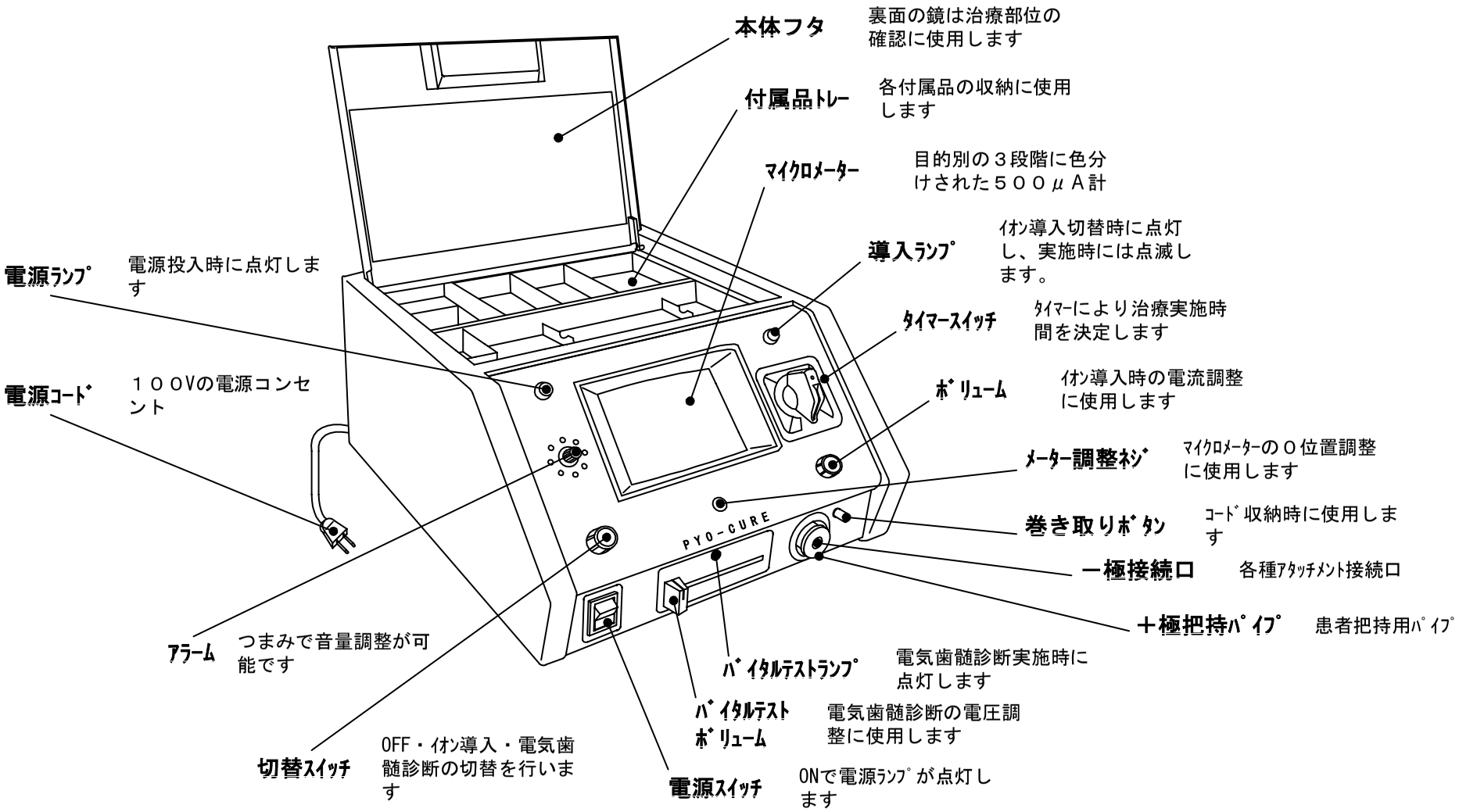
フッ素イオン導入治療装置”パイオキュアー”を使用したフッ素イオン導入法の効果

① フッ素イオンは細菌繁殖抑制作用があります。
② 組織に対する消炎作用があります。
③ 硬組織の形成を活発に促進します。
④フッ素イオンが硬組織に入った場合、う蝕に抵抗性のあるフッ化リン酸カルシウム（ﾌﾙｵﾛｱﾊﾟﾀｲﾄ）の歯質を作ります。
⑤ 病巣部から膿汁などの腐敗物質を（－）極の方に集める作用があります。

上記の療法で成果が期待できるのは、“パイオキュアー”だけ。

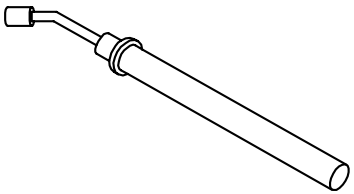
さらに、パルス波発振回路により歯髄の失活を確実に知らせるバイタルテスト機能も備わっています。

各部の名称と働き

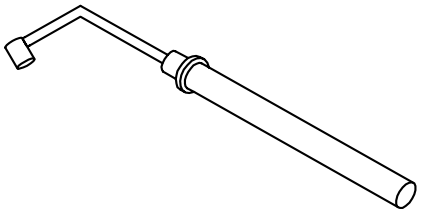

本体フタ
裏面の鏡は治療部位の確認に使用します
付属品ﾄﾚｰ
各付属品の収納に使用します
ﾏｲｸﾛﾒｰﾀｰ
目的別の３段階に色分けされた５００μＡ計
導入ﾗﾝﾌﾟ
ｲｵﾝ導入切替時に点灯し、実施時には点滅します。
ﾀｲﾏｰｽｲｯﾁ
ﾀｲﾏｰにより治療実施時間を決定します
ﾎﾞﾘｭｰﾑ
ｲｵﾝ導入時の電流調整に使用します
ﾒｰﾀｰ調整ﾈｼﾞ
ﾏｲｸﾛﾒｰﾀｰの０位置調整に使用します
巻き取りﾎﾞﾀﾝ
ｺｰﾄﾞ収納時に使用します
－極接続口
各種ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ接続口
＋極把持ﾊﾟｲﾌﾟ
患者把持用ﾊﾟｲﾌﾟ
電源ﾗﾝﾌﾟ
電源投入時に点灯します
電源ｺｰﾄﾞ
１００Vの電源コンセント
ｱﾗｰﾑ
つまみで音量調整が可能です
切替ｽｲｯﾁ
OFF・ｲｵﾝ導入・電気歯髄診断の切替を行います
電源ｽｲｯﾁ
ONで電源ﾗﾝﾌﾟが点灯します
ﾊﾞｲﾀﾙﾃｽﾄﾗﾝﾌﾟ
電気歯髄診断実施時に点灯します
ﾊﾞｲﾀﾙﾃｽﾄﾎﾞﾘｭｰﾑ
電気歯髄診断の電圧調整に使用します
PYO-CURE

付属品の名称

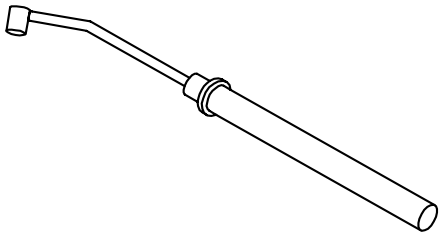
付属品はそろっていますか？
確認をし、□にチェックして下さい。



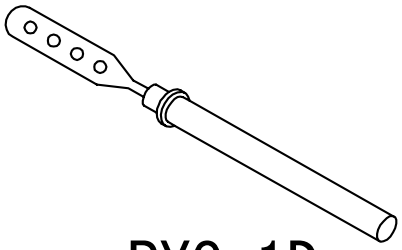
□ PY0-1A
前歯唇面用



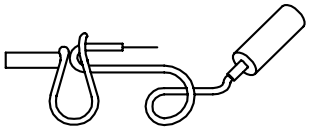
□ PY0-1B
前歯舌面用



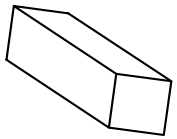
□ PY0-1C
臼歯用



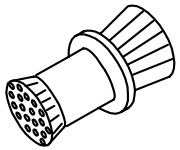
□ PY0-1D
多歯用



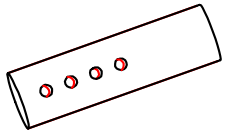
□ PY0-1F
根管治療用ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ



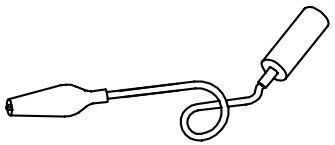
□ PY0-1G
ﾊﾞｲﾀﾙﾃｽﾄ用ﾁｯﾌﾟ
（ﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾌﾞﾙ）



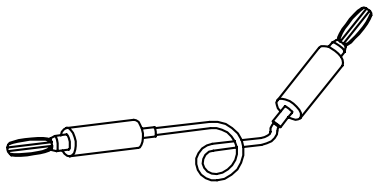
□ PY0-2
触子
（ﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾌﾞﾙ）



□ PY0-3
絶縁カバー
（ﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾌﾞﾙ）



□ PY0-7
ｲｵﾝﾄﾚｰ接続ｺｰﾄﾞ



□ PY0-8
治療用接続ｺｰﾄﾞ

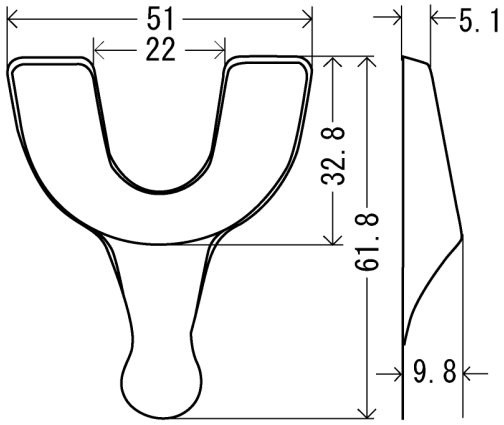
別売品

イオントレー

【禁忌・禁止】
再使用禁止

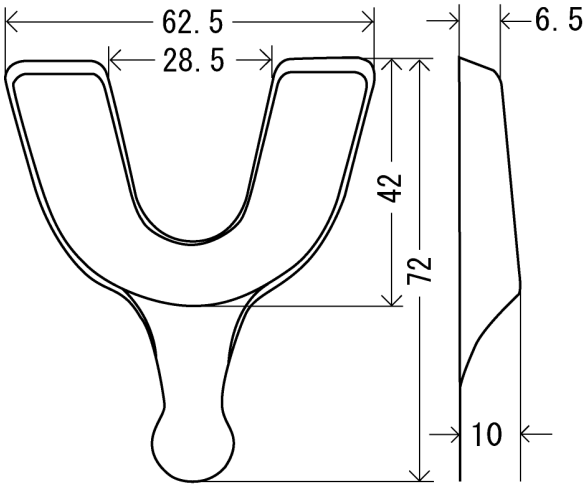
【包装】
各サイズ　２０個入
１００個入

ＳＳ：幼児用

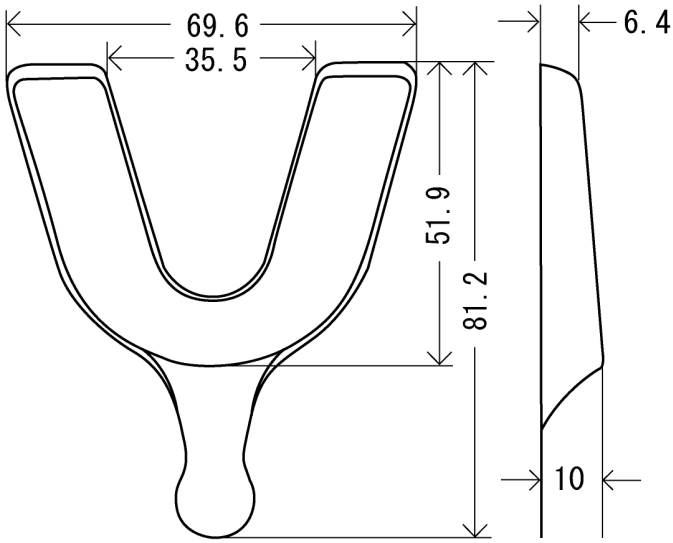


単位：mm

Ｓ：低学年用

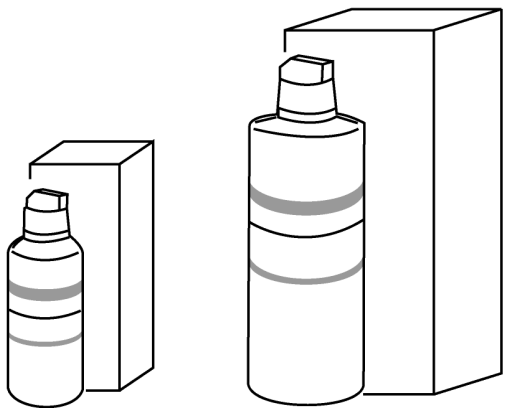


Ｍ：高学年～成人



ＰＹＯ－４Ａ
２％フッ化ナトリウム液

【包装】
100ml / 300ml



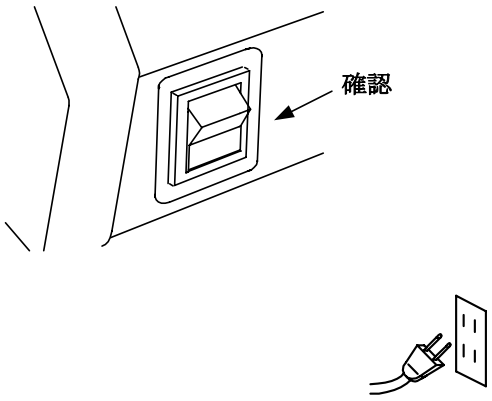
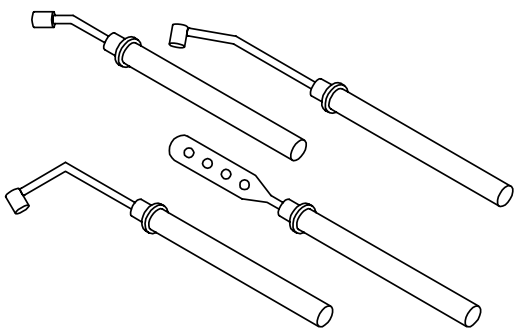
ご使用方法

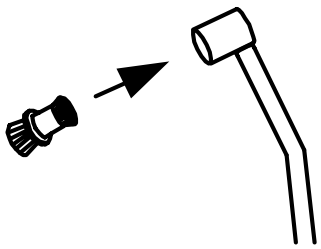
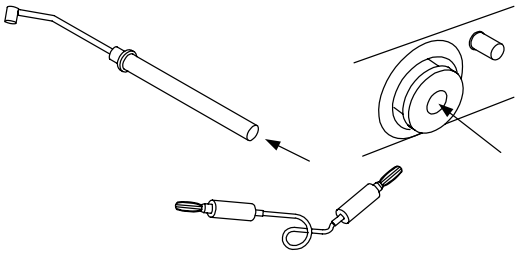
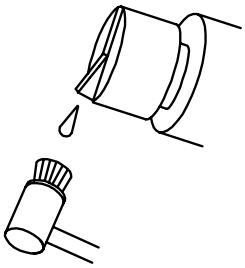
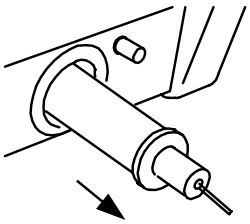
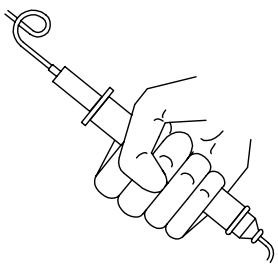
【併用禁忌】

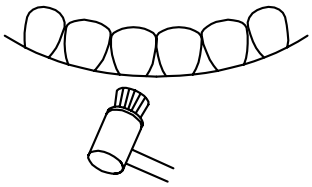
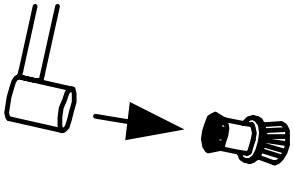
心臓ペースメーカー装着者への使用は避けること。
（併用しないことを原則とするが、診断あるいは治療上特に
必要とする場合には慎重に併用すること。）

ここでは、本製品の使用方法全般について説明しています。

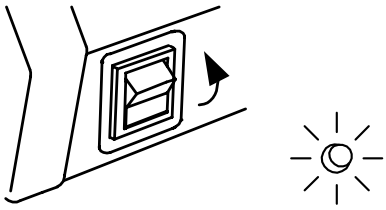
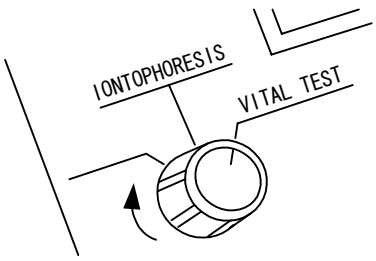
事 前 準 備

1  	電源コードを差し込む。 ＊このとき電源スイッチが OFF であること を確認してください。 **⚠ 警 告** AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。感電、火災、故障の原因になります。
2 	患者の部位・症状により、適当な用棒 (PYO−1A, B, C, D)を選択する。 PYO−1A：前歯唇面用　　PYO−1C：臼歯用 PYO−1B：前歯舌面用　　PYO−1D：多歯用

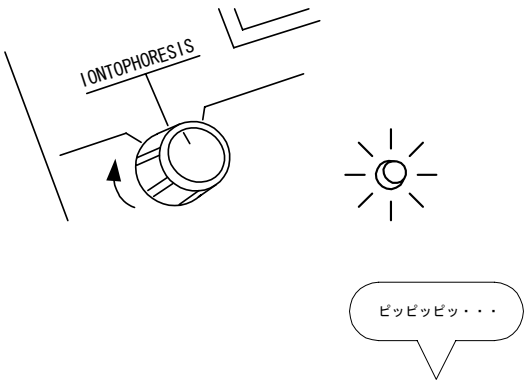
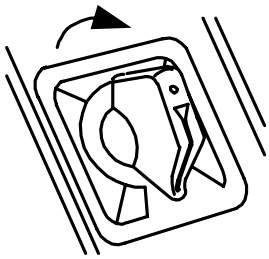
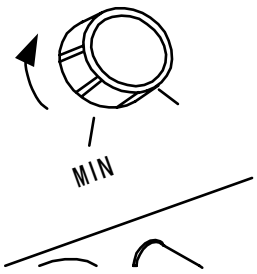
3 	選択した用棒の先端に触子(PYO-2)を挿入する。 ＊PYO-1D を選択した場合、絶縁カバーを使用して下さい。 PYO-1D に絶縁カバーをかぶせ、穴の位置をあわせ、その穴に触子を挿入してください。
4 	準備し終えた用棒に、治療用接続コード(PYO-8)の一方を差し込み、もう一方を・極接続口に差し込む。
5 	触子に2%フッ化ナトリウム液(ネオ)を浸す。 ＊薬液は触子以外の部分にかからないようにしてください。電流の分散につながり、通常の効果が得られない場合があります。
6  	把持パイプを適当な長さまで引き出し、パイプ部分を患者の片手でしっかり握らせる。 手のひらが乾燥状態である等、電気的導通が悪い場合はガーゼを水でぬらしパイプに巻き付け、その上から握らせてください。 ⚠ 注 意 パイプ部分は手のひら以外で触れないようにしてください。軽火傷の原因となります。

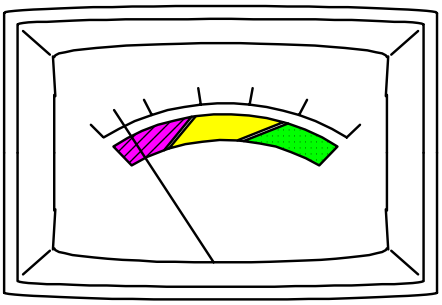
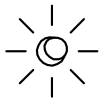
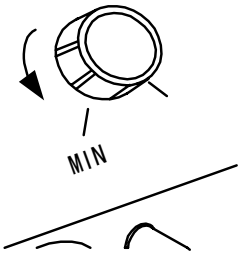
7 	患部に触子を接触させる。 ＊患者自身に持たせる場合は、本体フタの鏡等を利用して患部からずれないよう指示してください。
8 	触子はディスポーサブルですのでご使用後は毎回捨ててください。

基 本 操 作

1 	電源スイッチをONにする。 電源ランプが点灯します。
2 	切替スイッチ（SELECTOR）を使用目的に切り替える。 終了　→ OFF 治療　→ IONTOPHORESIS 電気歯髄診断　→ VITAL TEST

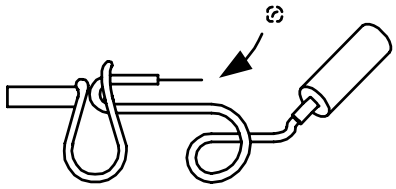
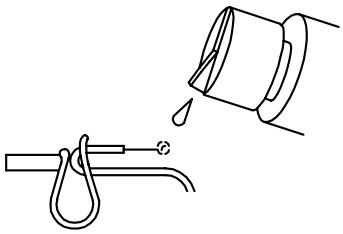
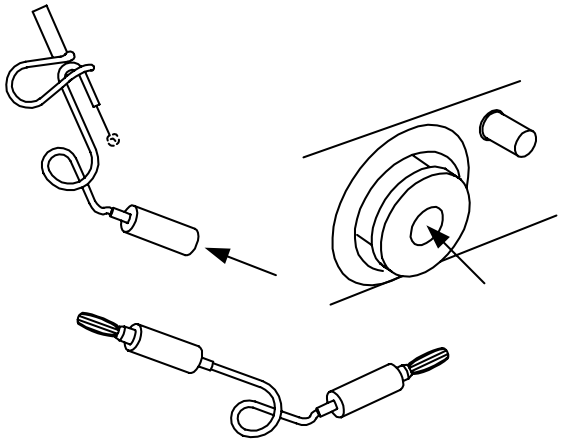
治　療（IONTOPHORESIS）

1 	切替スイッチ（SELECTOR）を”IONTOPHORESIS”に切り替える。 導入ランプが点灯し、アラームが鳴ります。
2 	タイマー（TIME SETTER）を所要時間にセットする。 （1回5～10分） ＊多めに回し、戻すようセットしてください。 アラームが停止し、導入ランプが点滅します。
3 	ボリューム（CURRENT CONT）を”MIN”から徐々にまわして、電流計を見ながら適当な電流値に調整する。 （注:事前準備完了後でないと針は振れません。） ＊　電流値は一歯、多歯に関わらず、通常範囲内で調整してください。 （イオン導入に必要な電流は充分得られます。）

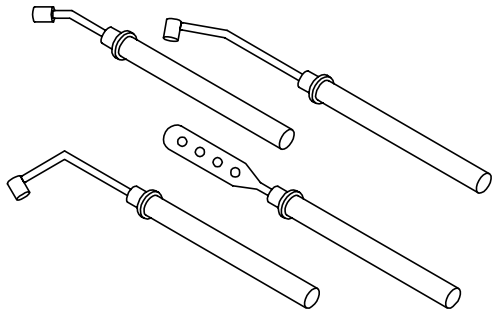
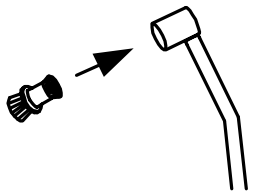
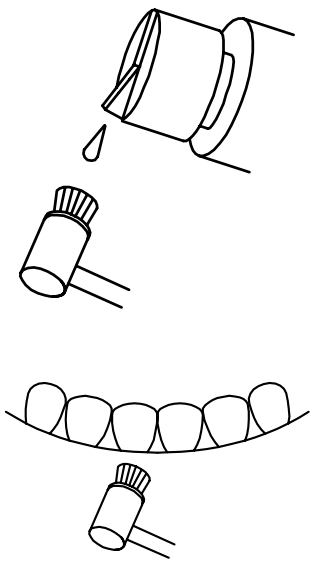
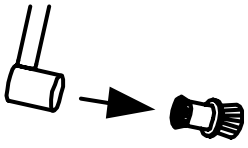
メーターについて 	オレンジ（ROOT CANAL TREATMENT） 根管治療、知覚過敏症等 イエロー（GENERAL TREATMENT） 一般治療 グリーン（CARIES PREVENT） う蝕予防
4  	所要時間が経過するとイオン導入の終了です。 導入ランプが点滅から点灯に変わり、アラームが鳴ります。
5 	ボリューム（CURRENT CONT）を ”MIN” にもどす。 続けて治療またはう蝕予防を行う場合 → 2～5を繰り返します。 歯髄診断を行う場合 → ”VITAL TEST ”に切り替えます。 治療終了の場合 → ”OFF ”に切り替えます。

治 療 応 用 例

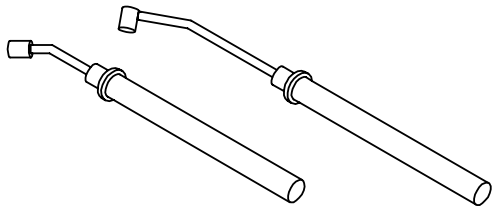
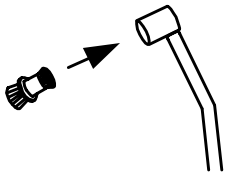
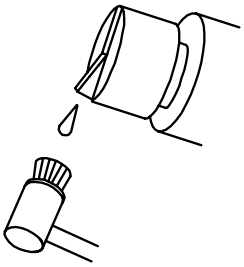
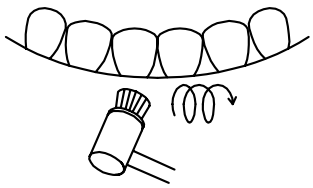
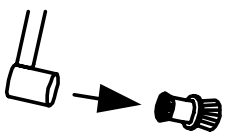
根 管 治 療

1 	付属品の根管治療用アタッチメント（PYO-1F）の先端金属線に綿を取り付ける。 根管内に挿入できるよう、金属線の先端部分に取り付けます。（ブローチの要領です）
2 	綿に2%フッ化ナトリウム液（ネオ）を浸して、根管内に挿入する。 2%フッ化ナトリウム液（ネオ）は適量を含ませます。
3 	治療用接続コード（PYO-8）を接続する。 ＊この際、ボリュームが”MIN”であることをご確認のうえ、徐々にボリュームを上げてご使用ください。 あとは、一般治療と同様に操作します。 ＊電流値は50～100μA （患者に苦痛を与えない範囲内で）です。

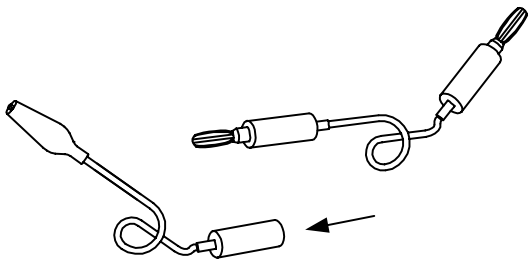
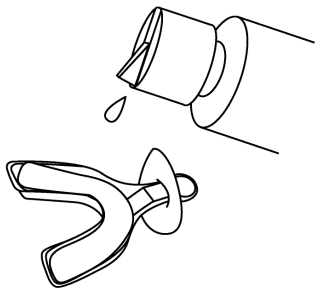
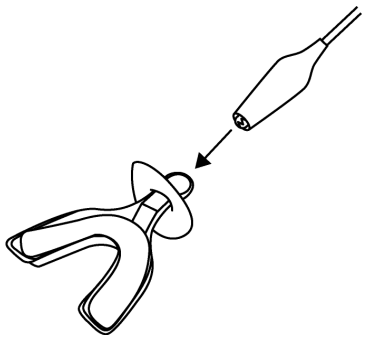
知 覚 過 敏 症

1 	対象歯牙の部位により、適当な用棒(PYO−1A, B, C, D)を選択する。
2 	選択した用棒に触子を挿入する。
3 	触子に2%フッ化ナトリウム液(ネオ)を浸し、患部にあてる。 ＊この際、ボリュームが”MIN”であることをご確認のうえ、徐々にボリュームを上げてご使用ください。 あとは、一般治療と同様に操作します。 ＊電流値は100μA以下（患者に苦痛を与えない範囲内で）、通電時間は5～10分、回数は連日または隔日2～3回が目安です。
4 	触子はディスポーサブルですのでご使用後は毎回捨ててください。

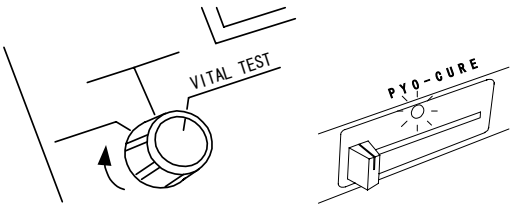
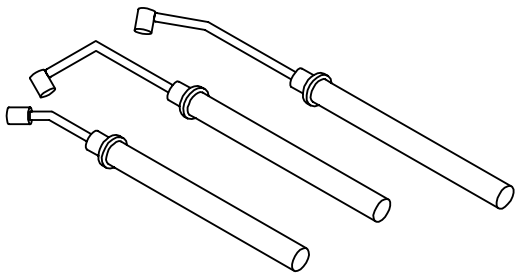
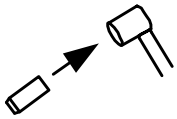
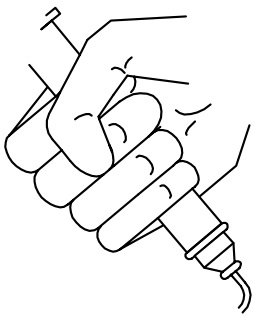
う 蝕 予 防 (PYO-1Aor1C)を使用する場合

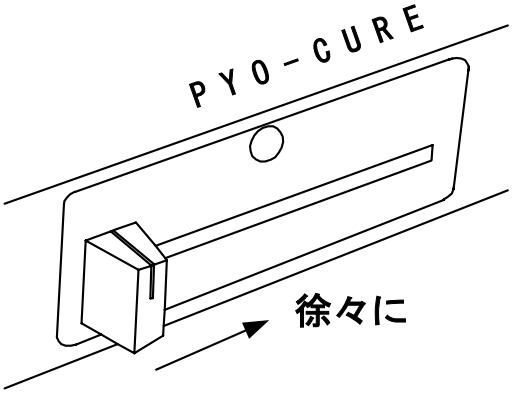
1 	対象歯牙の部位により、PYO-1A か PYO-1C を選択する。
2 	選択した用棒に触子を挿入する。
3 	触子に2%フッ化ナトリウム液(ネオ)を浸し、患部にあてる。 ＊この際、ボリュームが”MIN”であることをご確認のうえ、徐々にボリュームを上げてご使用ください。 電流値は200μA程度 (患者に苦痛を与えない範囲内で)
4 	用棒(PYO-1A or C)の使い方 一歯およそ20秒前後で拭き上げるように通電させます。 ＊この際、断続接触(触子を患部に接触させたり離したり)しないでください。患者に刺激を与える場合があります。
5 	触子はディスポーサブルですのでご使用後は毎回捨ててください。

う 蝕 予 防　イオントレーを使用する場合

1 	治療用接続コード（PYO-8）にイオントレー接続コード（PYO-7）をつなぐ。
2 	イオントレーの適合サイズを選び、内装綿に2%フッ化ナトリウム液(ネオ)を浸す。 薬液量は約1．5～2．5cc 2%フッ化ナトリウム液（ネオ）は 100ml の他に 300ml もあります。
3 	（PYO-7）のクリップにイオントレーを接続し、イオントレーを歯列に軽く圧接して通電を行う。 ＊通電前にボリュームが”MIN”であることをご確認のうえ、徐々にボリュームを上げてご使用ください。 電流値は450～500μA 通電時間は2分 上顎2分、下顎2分の合計4分で、う蝕予防処置完了です。
4 	ご使用後のトレーは処分してください。 **再使用禁止** ＊回数は年2、3回が目安です。

電気歯髄診断法（VITAL TEST）

1 	切替スイッチ（SELECTOR）を”VITAL TEST”に切り替える。 バイタルテストランプが点灯します。
2 	対象歯牙の部位により、適当な用棒（PYO−1A, B, C,）を選択する。
3 	選択した用棒にチップ（PYO−1G）を挿入する。 （PYO−1G）はご使用のたびに新品と交換してください。
4 	一般治療と同様に、患者に把持パイプを握らせ、チップ（PYO−1G）を被検歯にあてる。 ⚠ 注 意 必ず0からスタートしてください。 バイタルテストボリュームが上がった状態だと、患者に激痛を与える恐れがあります。

5  	バイタルテストボリュームを徐々に上げていく。 患者の感覚によって、生活歯か失活歯かを判定します。 ⚠ 注 意 中断した場合、またはチップが被検歯から滑ったような場合も必ず0から再スタートしてください。
6	一歯のみで判断せず、対称歯も念の為、テストしてください。

電極付コード(把持パイプ)について

電極付コードは、赤い目印以上に、無理に引き出さないでください。故障の原因となります。
また、把持パイプを本体に収納する際は、手を添えてゆっくりと巻き取らせてください。

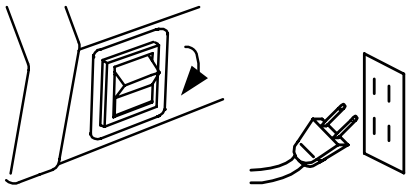
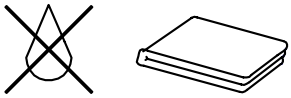
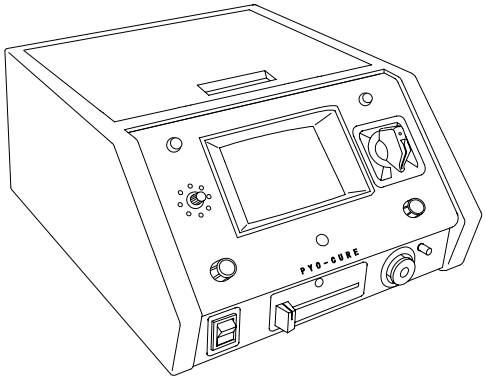
保守のしかた

ここでは、日常の手入れや保守のしかたについて説明しています。

清掃 ・ 消毒 ・ 滅菌

	清　掃	消　毒	滅　菌	
	中性洗剤水拭	アルコール清拭	EOG滅菌	高圧蒸気滅菌
本　体	○	○	×	×
PYO-1A ～ 1D	○	○	○	×
PYO-1F , 7 , 8	○	○	○	×

製 品 の 手 入 れ

1 	電源スイッチを OFF にし、電源コードをコンセントから抜いてください。
2  	柔らかい布で汚れを拭く。 **⚠ 警 告** 製品内部に水気が入らないようにしてください。内部がぬれると電気回路がショートすることがあります。 ＊汚れがひどいときは、中性洗剤を水に少量入れ、そこに柔らかい布を浸し、かたく絞ってから汚れを拭き取ってください。 次に乾いた布で水気を拭き取ってください。

付 属 品 の 交 換

○ 次の4点は汚れが激しいため、使用ごとに廃棄、交換してください。

- イオントレー
- 触子（PYO-2）
- 絶縁カバー（PYO-3）
- バイタルテスト用チップ（PYO-1G）

特に触子（PYO-2）は、重用すると効果に著しい差違が生じますのでご注意ください。

製品の発送について

○ 本製品を修理等により発送する場合は、製品を衝撃から守るために充分注意して梱包してください。

○ また製品内部に水気が入らないように配慮してください。

困 っ た と き は

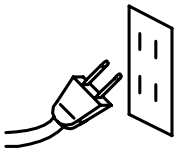
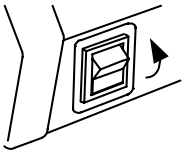
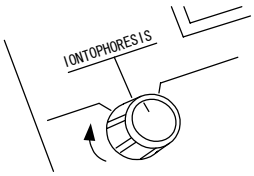
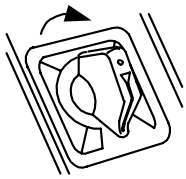
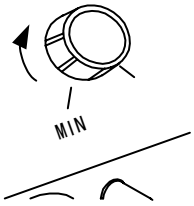
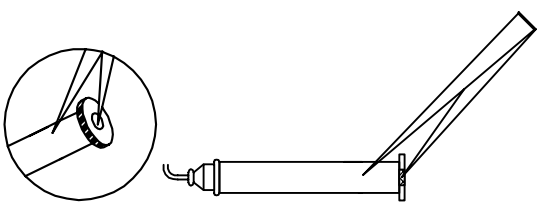
ここでは、製品の不具合・点検方法等について説明をしています。

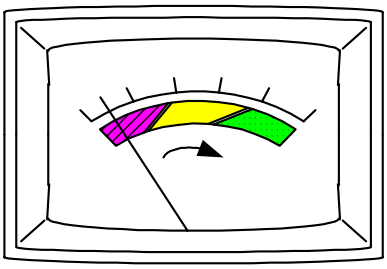
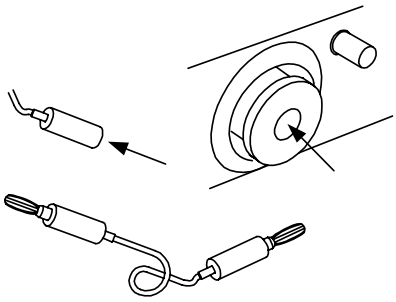
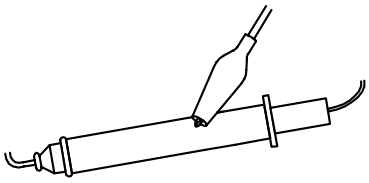
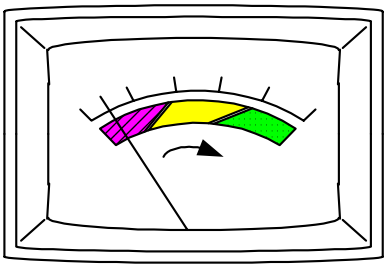
故障かな？ と思ったら

製品が思うように動作しないときは、次の内容をチェックしてください。

症　　状	確　　認
電源スイッチを ON にしても、電源ランプが点灯しない	電源コードがコンセントに、しっかり差し込まれていますか？
治療(IONTOPHORESIS)の際、メーターが動かない	患者が把持パイプをしっかり握っていますか？ 患部に触子（PYO−2）がしっかり　触れていますか？ ※次ページ「本体・付属品の点検方法」参照
バイタルテスト(VITAL TEST)がうまくいかない	患者が把持パイプをしっかり握っていますか？ 患部にチップ（PYO−1G）がしっかり触れていますか？

本体 ・ 付属品の点検方法

1 	電源コードをコンセントに差し込む。 **⚠ 警 告** AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。感電、火災、故障の原因になります。
2 	電源スイッチを ON にする。
3 	切替スイッチ（SELECTOR）を、"IONTOPHORESIS"に切り替える。 ＊"VITAL TEST"では点検できません。
4 	タイマー"TIME SETTER"を最大にまわしておく。
5 	ボリューム"CURRENT CONT"を最大にする。
6 	把持パイプと・極接続口を左図のようにピンセット等でショートさせる。

7 	メーターが触れる → 正常 ･･･8へ メーターが触れない → 本体の異常 ＊弊社長野工場サービス係にご相談ください。
8 	次に、PYO-8 を⊖極接続口に差し込み、点検する付属品を接続する。
9 	付属品先端の金属部分を把持パイプの金属部分に接触させる。
10 	メーターが触れる → 正常･･･11へ メーターが触れない、フラつく → 付属品の異常 ＊異常の場合は、点検した付属品(PYO-1F、7、8)を新品と交換してください
11	10まで点検し、異常がないにも関わらず、使用できない場合は、弊社長野工場サービス係にご相談ください

アフターサービス

本製品の無料保証期間は1年6ヶ月です。
誤った取り扱いをしたり、落下、衝撃等による故障、弊社サービスマン又は有資格者以外の者が修理・改造したこと等に起因して生じた障害については、保証いたし兼ねます。有償にて修理をさせて頂きます。
まずは弊社サービス係か取扱い販売店にご相談ください。

連絡・送り先

株式会社ナルコーム製作所

長野工場　サービス係

〒384－2107　長野県北佐久郡浅科村蓬田1251－239
TEL　0267－51－5155(代)
FAX　0267－58－0577

ご 注 意

(1)本書の内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
(2)本書の内容について、予告なく修正、変更することがありますが、ご了承ください。
(3)本製品仕様を、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。
(4)お客様が本製品を不適当に使用したり、本書の内容に従わずに取り扱ったり、または弊社サービスマン以外の者が修理・改造したこと等に起因して生じた障害等については、責任を負いかねますのでご了承ください。
(5)本書の内容について、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

付　　録

～～～ 索　引 ～～～

あ行

アラーム・・・・・・・・・・・・・・・7
IONTOPHORESIS・・・・・・・・・・・・13
イオントレー・・・・・・・・・5,9,18,22
う蝕予防 ・・・・・・・・・・・13,17,18

か行

CURRENT CONT ・・・・・・・・・・・13
切替スイッチ ・・・・・・・・・・・7,12
根管治療・・・・・・・・・・・・13,15
根管治療用アタッチメント・・・・・・8

さ行

触子 ・・・・・・・・・・・・・・・8,22
絶縁カバー ・・・・・・・・・・・8,22
SELECTOR ・・・・・・・・・・・・・12

た行

タイマースイッチ・・・・・・・・・・7
TIME SETTER・・・・・・・・・・・・13
知覚過敏症・・・・・・・・・・・13,17
治療 ・・・・・・・・・・・・・・・13
治療用接続コード・・・・・・・・・・8
電気歯髄診断法 ・・・・・・・・・・19
電源スイッチ・・・・・・・・・・・・7
電源コード・・・・・・・・・・・・・7
電源ランプ・・・・・・・・・・・・・7
導入ランプ・・・・・・・・・・・・・7

な行

２％フッ化ナトリウム液 ・・・・・5,9

は行

VITAL TEST ・・・・・・・・・・・・19
バイタルテストボリューム・・・・・・7
バイタルテスト用チップ ・・・・・8,22
バイタルランプ・・・・・・・・・・・7
把持パイプ ・・・・・・・・・・・7,20
ＰＹＯ－１Ａ・・・・・・・・・・・・8
ＰＹＯ－１Ｂ・・・・・・・・・・・・8
ＰＹＯ－１Ｃ・・・・・・・・・・・・8
ＰＹＯ－１Ｄ・・・・・・・・・・・・8
ＰＹＯ－１Ｆ・・・・・・・・・・・・8
ＰＹＯ－１Ｇ・・・・・・・・・・・・8
ＰＹＯ－２・・・・・・・・・・・・・8
ＰＹＯ－３・・・・・・・・・・・・・8
ＰＹＯ－７・・・・・・・・・・・・・8
ＰＹＯ－８・・・・・・・・・・・・・8
付属品トレー・・・・・・・・・・・・7
付属品の点検 ・・・・・・・・・・・24
ボリューム・・・・・・・・・・・・・7
本体の点検・ ・・・・・・・・・・・24

ま行

マイクロモーター ・・・・・・・・・7,13
一極接続口・・・・・・・・・・・・・7
巻き取りボタン・・・・・・・・・・・7
メーター調整ネジ・・・・・・・・・・7
綿 ・・・・・・・・・・・・・・・・15

や行

用棒 ・・・・・・・・・・・・・・・10

商品に関するお問い合わせ、ご質問は営業所までご連絡ください。

・・・・・・・・・・・・

本社・工場　〒384-2107 長野県北佐久郡浅科村大字蓬田 1251 番地 239
TEL 0267-51-5155㈹　FAX 0267-58-0557

営業所　〒270-2253 千葉県松戸市日暮 2-3-15 7F
TEL 047-311-3600㈹　FAX 047-311-3133

URL　http://www.narcohm.co.jp　Mail : info@narcohm.co.jp

（第2版 2002.11）